

これからの東海道川崎宿を 活かしたまちづくり ワークショップ取組成果



令和7年3月

川崎区役所まちづくり推進部地域振興課

趣旨・目的

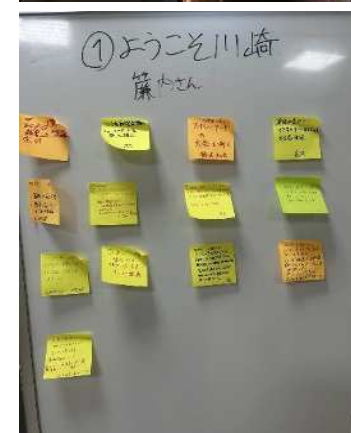
これまでの関係者や新たな人達を対象に、2023年に行った川崎宿起立400年プロジェクトで定めた「目指すゴール」をレガシーとして継承しつつ、より持続可能な地域主体の取組へと進化させていくことを目的に、その取組内容や体制・方法などを議論しました。

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議の目指すゴール

- 1 東海道川崎宿起立400年記念事業を短期的な祝祭・式典の一連として捉えるのではなく、この先の川崎宿関連地域の価値向上や発展につなげる。
- 2 歴史を振り返り川崎の魅力を再発見するとともに、魅力を可能性に変えるまちづくりとして、地域の人々や企業・団体が主体となって「参加」し、「連携」し、「実現」し、「自走」していく事業にする。
- 3 東海道川崎宿起立400年を契機に、川崎の魅力を周知し、全国から実際に訪れてもらい、好きになってもらう。

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ取組内容

会議	内容
第1回	概ね5年先の川崎のありたい姿やそれぞれがやりたいことやできることを考えました。
第2回	それぞれがやりたいことやできることを深掘りして考えました。
第3回	それぞれがやりたいことやできることを深掘りして考えました。
第4回	- やりたい事を実現するために必要な事を考えました。 - 必要なこととは、それぞれの取組内容が情報共有でき、協力し合えるネットワークづくりが必要。また一つのテーマを皆で取組ことも必要であることを確認しました。
第5回	- 第1回目から4回目までの振り返りを行いました。 - それぞれの取組の情報共有を行いました。 4月移行も継続して情報共有の場をつくっていくことを確認しました。 - それぞれの取組をサポートするコーディネーターの役割を共有しました。



これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ^①新たな取組目標※概要版

概ね5年先の川崎のありたい姿	ありたい姿に向けてやりたいことやできること
●にぎわいづくり ①歴史文化・芸術等多彩な催しが年中開催されている ②飲食・買い物・体験で誰もが一日楽しめ遊べる ③水辺（六郷の渡し場跡）が賑わっている ④若者が楽しめチャレンジできている	①イベント（プロレス、コーヒー・お茶フェス、和菓子めぐり、芭蕉の句碑で俳句、新しいハロウィン）の開催、屋台出店、東海道の歩行者天国、花街の再生、江戸のぼり、提灯行列協賛活動 ②観光パンフの充実（特に外国人向け）、看板・ガイドの多言語対応、体験コンテンツの充実（和装等）、庁舎25階の活用、食べ歩きができる店の充実、公園の活用、商店街・商業施設・ホテル・行政等の一体的な取組、隣接自治体との連携 ③六郷の渡し場跡のクルーズイベントやサップの開催等 ④高校・大学生との連携（まちづくり活動の機会提供、コンテスト形式）、東海道と音楽やスポーツと連携した賑わい創り、スタートアップを目指す若手起業家との連携
●まちなみづくり ①宿場まちらしい景観や道が整備され飲み屋街がある ②安全・安心できれい ③水辺（六郷の渡し場跡）で憩える ④歩きやすく回遊性が富んでいて散歩が楽しい	①店舗を増やしたり、店舗意匠のルールづくり、沿道の風情ある植栽（松並木）の設置、店舗や場所を探して地権者と相談（東海道に魅力的なお店の誘致）、飲み屋横丁、新旧が融合されたまちなみ ②ごみ拾い、落書き消し、国道15号線高架下壁画へのデッサン、ごみ箱の試験設置、アップサイクル企画、防災意識の啓発、エコロジーな取組モデルシティ（SDGSの推進や業者と連携した取り組み） ③お花畑をつくる、トイレ・水道の設置、公園にする、国等への要望を地域としてまとめる ④歩きやすい道づくり（道の整備、無電中化、線路の地中化）、広場や公園の活用（交番跡地の活用）、アートの活用（浮世絵等）、緑や花のある自然溢れるまちなみ、防災につよいまち
●コミュニティづくり ①異業種・文化、多世代、市民、企業、商業者全てが交流できる ②大人が学べ、楽しめる ③地域で支え・人を育てる ④こどもや家族で集える	①情報共有や意見交換ができる場をつくる、協力者を募れる場をつくる、お勧め店を教えてくれる地元民と交流できる、町会とつながれる場をつくる、外国人が住みやすい、一体となった地域をつくる ②誰でも気軽に参加できる、熱く楽しく夢を語れる、東海道に興味を持った人同士がつながれる、友人・知人（仲間）が増やせる、単身世帯も気軽に交流できる、地元民が教えるお勧め街歩きコースの作成 ③こども達へ勉強を教える、まちづくり活動を応援する形の仕組み化 ④こどもや家族で安心して過ごせ、子育て相談等をできるコミュニティをつくる
●情報の発信 ①旬な情報（イベント、取組）がわかる ②案内の充実 ③歴史の伝承 ④街を歩いて学べる	①SNSやウェブサイトでの情報発信（口コミ、リポストなどの活用、良い投稿への表彰）、友人・知人を活用した情報の拡散、地域や企業の共感を得る、ブランディングの活用、商店街で告知ブースの出店、単体でなくエリア全体での情報発信（行政・民間全ての取組）、新規店舗情報発信等 ②京口・江戸口案内の充実、QRコードの活用、JR川崎駅・京急川崎駅、富士見公園、市役所通り等の案内強化 ③講座の開催、学校との連携、インタビュー動画、市北部や市外への情報発信、名産品の企画実施・PR、三角おむすび ④まちあるきツアー、若者ガイド員の養成、街歩きマップの多言語標記

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ新たな取組目標※にぎわいづくり詳細版

① 芸能・文化・芸術等多彩な催しが年中開催されている

- 【短】宿場パレード、エリア全体で盛り上げる一体的なイベント、時代衣装で街を周遊するイベント、提灯作り体験、夜間の提灯行列、ハロウィンイベントと連携、川崎独自のキャラクター（百鬼夜行等）で新しいハロウィン、日進町の芭蕉の句碑の活用、東海道の歩行者天国、コーヒー・お茶フェス、東海道各所で行う音楽イベント、商店街でプロレスフェス
- 【中】隣接自治体との連携イベントで相乗効果、和菓子巡り
- 【長】花街の再生、屋台出店

② 飲食・買い物で楽しめて、遊べるまち

- 【短】外国人向けのおすすめマップをホテルに配架し各店舗にも多言語メニューを作成、6時間周遊できる外国人向け飲食店マップの作成、まちあるきツアー、地元商店の講座、魅力のある体験コンテンツを開発、看板・ガイドの多言語対応、公園の活用、商店街・商業施設・ホテル・行政等の一体的な取組
- 【中】名物料理の開発、キャラクターデザイン&グッズ制作、市庁舎展望フロアの活用、食べ歩きができる店の充実
- 【長】外国語対応ができるガイド員の養成

③ 水辺（六郷の渡し場跡）が賑わっている

- 【短】六郷の渡しまつりの開催、クルーズ船の工場夜景ツアーの開催
- 【中】サップの実施
- 【長】多摩川を花畑にする

④ 若者が楽しめチャレンジできている

- 【短】音楽やスポーツと連携した賑わい創り
- 【中】高校や大学の授業で行うまちづくり学習を通じて面白い体験の提供、まちづくりコンテストの開催
- 【長】スタートアップを目指す若手起業家との連携

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ新たな取組目標※まちなみづくり詳細版

①宿場まちらしい景観や道が整備され飲み屋街がある

- 【短】店舗や場所を探して地権者と相談（東海道に魅力的なお店の誘致）、東海道沿道の松の木等の植樹、東海道の道を勉強する会を立ち上げる、
- 【中】地元に理解してもらい国等への要望の機運を高めていく
- 【長】店舗を増やしたり、店舗意匠のルールづくり（条例など）、東海道に飲み屋横丁をつくる

②安全安心できれいなまち

（おおむね5年後のありたい姿）

- 【短】落書き消し（他団体と連携）、掃除活動、ごみ出し箱の整理、他都市の活動を参考にする、防災意識の啓発
- 【中】ごみ箱を試験的においてみる、アップサイクル企画（割り箸⇒ベンチへ）&ベンチのデザインコンテスト、エコロジーな取組モデルシティ（SDGSの推進や業者と連携した取り組み）
- 【長】うす暗い国道15線高架下壁面にデッサンする、客引きの一掃

③河川敷（六郷の渡場跡）で憩えるまち

（おおむね5年後のありたい姿）

- 【短】六郷の渡し祭りやサップ等の水辺を活用したイベントで盛り上げて市民・行政に魅力を知ってもらう、国等への要望を地域としてまとめる
- 【中】トイレ・水道の設置、公園にする、
- 【長】お花畑をつくる、

④歩きやすくて散歩が楽しくなる回遊性のあるまち

- 【短】広場や公園の活用（交番跡地の活用）、アートの活用（浮世絵等）、
- 【中】緑や花のある自然溢れるまちなみ
- 【長】線路や高架をクリアできる回遊性が生まれるまちづくり、街を公園でつなぐ都市公園、東海道53次全体をユネスコ世界遺産に登録したい、歩きやすい道づくり（道の整備、無電中化、線路の地中化）、防災につよいまち

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ新たな取組目標※コミュニティづくり詳細版

①異業種・文化、多世代、市民、企業、商業者全てが交流できる

- 【短】情報共有や意見交換ができる場をつくる、協力者を募られる場をつくる、
お勧め店を教えてくれる地元民と関われる場をつくる、町会とつながれる場をつくる、
- 【中】外国人が住みやすいまちをつくる
- 【長】一体となった地域をつくる

②大人が学べ・楽しめる

- 【短】誰でも気軽に参加できる場をつくる、熱く楽しく夢を語れる場をつくる、
東海道に興味を持った人同士がつながれる場をつくる、単身世帯も気軽に交流できる場をつくる、
- 【中】友人・知人を増やしていける場をつくる、
東海道かわさき宿交流館の有効活用、サークル活動をはじめる地元民が教えるお勧めコースまち歩きコースの作成
- 【長】ITコミュニティイベントの開催

③地域で支え・育てる人づくり

- 【中】まちづくり活動を応援する形の仕組み化
- 【長】こども達に勉強を教える（地域の寺子屋）

④こどもや家族が集まれる場

- 【長】子どもや家族で安心して過ごせる広場をつくる、子育て相談等をできるコミュニティをつくる

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップ新たな取組目標※情報発信詳細版

①旬な情報（イベント・取組）がわかる

- 【短】SNSやウェブサイトでの情報発信（口コミ、リポストなどの活用）、新規店舗等情報発信を行う、地域活動取材し動画で配信する、ブランディングの活用、友人・知人を活用した情報の拡散
- 【中】商店街で告知・啓発ブースの出店、良い投稿への表彰制度
- 【長】単体ではなくエリア全体（行政・地域全ての組織）で発信、地域や企業の共感を得る、

②案内の充実

- 【短】京口・江戸口案内の充実、QRコードの活用
- 【中】有料広告のスポンサー探し、マンション所有者に無料屋外広告を依頼する
- 【長】JR川崎駅・京急川崎駅での広報、富士見公園や市役所通り等の案内強化

③歴史の伝承

- 【短】歴史講座（浮世絵・地名等）の開催、こども向け勉強会の開催、こども向けの歴史の伝承、学校との連携
三角おむすびを活用した取組、東海道かわさき宿交流館の活用
- 【中】インタビュー動画の配信、名物・名産品の誕生・企画実施・PR、市北部や市外への情報発信
- 【長】東海道や寺子屋のジオラマづくり、新たなキャラクターの誕生

④街を歩いて学べる

- 【短】まちあるきツアー
- 【中】若者ガイド員の養成、街歩きマップの多言語標記

これからの東海道川崎宿を考えるワークショップまとめ

目指すべき
ゴール
(第1階層)

おおむね5年先の
川崎のありたい姿
(第2階層)

ありたい姿に向けて
やりたいことやできること

コーディネーター

- ・場の運営支援や取組への伴走・助言
- ・活動やイベントの情報発信 (SNS、HP)

区役所

- ・金銭支援 (地域活動助成金他)
- ・取組推進に必要なこと

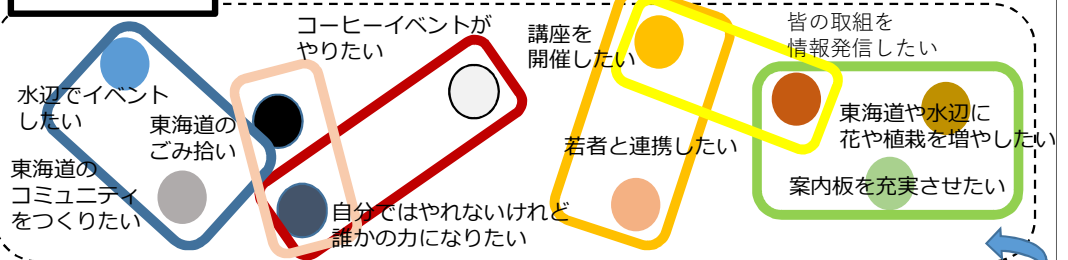
川崎宿起立400年プロジェクト推進会議で定めた 目指すべきゴール (継承するレガシー)

- 1 東海道川崎宿起立400年記念事業を短期的な祝祭・式典の一連として捉えるのではなく、この先の川崎宿を含む川崎駅周辺一帯の価値向上や発展につなげる。
- 2 歴史を振り返り川崎の魅力を再発見するとともに、魅力を可能性に変えるまちづくりとして、地域の人々や企業・団体が主体となって「参加」し、「連携」し、「実現」し、「自走」していく。
- 3 東海道川崎宿起立400年を契機に、川崎の魅力を周知し、全国から実際に訪れてもらい、地域の人たちにもっとかわさを好きになってもらう。

新たな取組目標

- ・にぎわい (歴史文化・芸術等多彩な催しが年中開催されているまちetc)
- ・まちなみ (宿場まちらしい景観や道が整備され飲み屋街があるまちetc)
- ・コミュニティ (異業種・文化、多世代、市民、企業、商業者が交流できているまちetc)
- ・情報の発信が常にされている (旬なイベント、取組) まちetc

情報共有の場



【取組を進めるためのありたい“場”】

- ・お互いの取り組みや様々な情報共有ができる場
- ・誰でも気軽に参加でき熱く語れる場
- ・つながりが増える事で共感しあえる仲間と
- ・取組を情報発信し仲間を集めていきたい
- ・やりたいことを実施することができる場

- ・誰でもいつでも参加OK
- ・他団体の取組も共有